

# 鶴見俊輔のコスモロジー



[開催日時]

2025年  
11月9日(日)  
13:00～18:00  
(12:30受付開始)

[プログラム]

開会挨拶 13:00-13:10

基調講演 13:10-13:50 黒川 創(作家)

講演① 13:50-14:20 鶴見太郎(早稲田大学文学学術院 教授)

講演② 14:40-15:10 根津朝彦(立命館大学産業社会学部 教授)

講演③ 15:10-15:40 福家崇洋(京都大学人文科学研究所 準教授)

講演④ 15:40-16:10 藤原辰史(京都大学人文科学研究所 教授)

コメント 16:30-16:50

ディスカッション 16:50-17:55

閉会挨拶 17:55-18:00

▶ご参加はコチラから <https://forms.gle/uCBqcmRmP5T5oV1U7>

[主催] 京都大学人文科学研究所

[共催] 京都大学成長戦略本部  
京都大学人文情報学創新センター



写真は鶴見俊輔の直筆のノート。内容の詳細は裏面へ。

[会場]

京都大学総合研究4号館1階  
共通1講義室

対面開催 | 無料(要事前申し込み)

定員100名(申し込み先着順)

NEXT GOAL 挑戦中

暮らしに息づく  
哲学を後世へ

—鶴見俊輔・没後10年  
資料継承プロジェクト—

撮影・庄司道哉(新規)

プロジェクト代表  
京都大学人文科学研究所 藤原辰史

クラウドファンディング挑戦中  
(～2025年11月27日)

<https://academist-cf.com/projects/400>

# 鶴見俊輔のコスモロジー

めとした強大な力とのあいだのすさまじい緊張のなかで、匂いをもった「人間」を論じつづけ、そんな人間たちと共同で雑誌『思想の科学』を築いてきた学者である鶴見俊輔の試み。鶴見の試みを、さらに世の中へと開いて、現在を生きる困難に学びほぐしていくべ、「スマート化」し「商品化」するアカデミズムだけではなく、世界戦時下の政治の、知からの退行を乗り越えるヒントが得られるのではないか。鶴見俊輔文庫の設立を念頭に、可能性としての鶴見の哲学を、さまざまな角度から論じる。

## [登壇者]



基調講演 13:10-13:50

黒川 創 (作家)

「ノートに何を記したか」

代表作

- 『鶴見俊輔伝』(新潮社)
- 『日米交換船』(新潮社、鶴見俊輔・加藤典洋との共著)

画像提供:新潮社



講演① 13:50-14:20

鶴見 太郎 (早稲田大学文学学術院 教授)

「記憶と人物交流」

代表作

- 『柳田国男 感じたるまい』(ミネルヴァ書房)
- 『座談の思想』(新潮選書)



講演② 14:40-15:10

根津 朝彦 (立命館大学産業社会学部 教授)

「鶴見俊輔とジャーナリズム思想」

代表作

- 『戦後「中央公論」と「風流夢譚」事件——「論壇」・編集者の思想史』(日本経済評論社)
- 『戦後日本ジャーナリズムの思想』(東京大学出版会)



講演③ 15:10-15:40

福家 崇洋 (京都大学人文科学研究所 准教授)

「転向論再考」

代表作

- 『吉野作造の中国論の再検討』『人文学報』123号
- (共編)『思想史講義』(ちくま新書)



講演④ 15:40-16:10

藤原 辰史 (京都大学人文科学研究所 教授)

「鶴見俊輔文庫の理念」

代表作

- 『食権力の現代史——ナチス「飢餓計画」の水脈』(人文書院)
- 『生類の思想——体液をめぐって』(かたばみ書房)

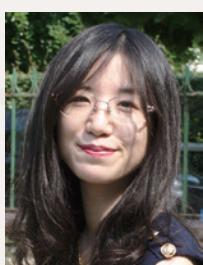


石井 美保 [コメンテーター]

(文化人類学者・京都大学人文科学研究所 教授)

近著

- 『めぐりながれるものの人類学』(青土社)
- 『裏庭のまぼろし——家族と戦争をめぐる旅』(ア紀書房)



菅原 百合絵 [司会]

(京都大学人文科学研究所 准教授・歌人)

代表作

- 『たましひの薄衣』(第49回現代歌人集会賞、第24回現代短歌新人賞受賞)
- Le sentiment intérieur et sa communication chez Jean-Jacques Rousseau (Thèse de doctorat soutenue à l'Université Paris-Cité)

●京都大学生協ショッピングモールにて、鶴見俊輔関連書籍のブックフェアを開催予定!  
●内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

### [表面写真の詳細]

鶴見俊輔が日米交換船で帰国したあと、海軍軍属になるまでの期間に、日本で書いた、自分の今後の方針をまとめた文章。アメリカのプログラマティズムについての覚書が中心である。執筆時期は、1942年8月(帰国し徴兵検査で第2乙種に合格)から、1943年2月に神戸港からジャワ島赴任するまでの間と思われる。

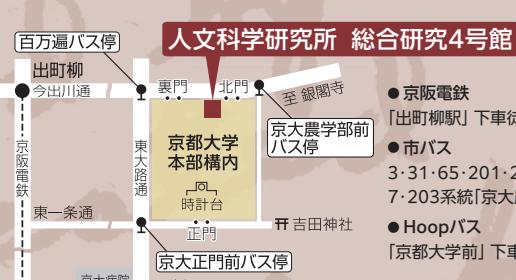


## [問い合わせ] 京都大学人文科学研究所 総務部

Tel. 075-753-6902 (平日9:00-17:00)

e-mail. z-academy@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

<https://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>



\*駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。